

アンケート集計

■セミナーを知ったきっかけ

1	国土交通省	7	
2	出演者	2	
3	主催者	7	日本工業経済新聞社 (一社) 全国地域活性化支援機構
4	後援者	1	J-Lis
5	ホームページ等	4	
6	その他 (社内の案内)	6	社内の案内
7	その他 (CPD)	1	建設コンサルタント (CPD)
8	その他 (国民会議)	1	インフラメンテナンス国民会議メルマガ
9	その他 (新聞記事)	3	建設新聞記事

■本日のセミナーの内容はいかがでしたか

1	また参加したい	23
2	良い	7
3	ふつう	2
4	良くない	0

■特に印象に残った内容

池内教授による特別講演

池内先生の講演が特に興味があります。

池内先生の災害後対応経験話。(セミナーに参加しないと聞けない)

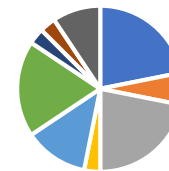
特別講演の三田市の災害情報システムの仕組みは、とても素晴らしいものだと感じた。また情報の伝達の新たな国の取組みについても大いに期待しました。

三次元測量データの使い方 (河川管理)

タイムラインのシステム化。市町村に広まればよい

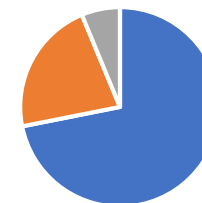
AIの活用

セミナーを知ったきっかけ



- 1 国土交通省
- 2 出演者
- 3 主催者
- 4 後援者
- 5 ホームページ等
- 6 その他 (社内の案内)
- 7 その他 (CPD)
- 8 その他 (国民会議)
- 9 その他 (新聞記事)

セミナーの内容について



- 1 また参加したい
- 2 良い
- 3 ふつう
- 4 良くない

「川の水位情報」情報の伝え方

住民にどう伝えるかどう動くかが今後の課題であることが分かった

避難率の向上の必要性

”伝える”ではなく”伝わる”情報

興味深く聞きました。来てよかったです。

判り易くて面白かった

パネルディスカッション

ハード対策の恩恵はあまり報道されていないが重要な情報と思った。

最新の河川技術情報が分かってよかった

情報量が多くなる中で、住民自ら情報をとり、避難を考えることの重要性があることを改めて感じました。パネルディスカッションがとても良かったです。

特別講演で小川氏のテーマが具体的で「河川管理と防災・減災」に向けた取り組みが分かりやすかった。

小川氏のシステムの話、非常に素晴らしかった。

國本様のお話しが切実であった。

地方自治体、特に市町村の方の話を聞いてよかった。避難率を上げることは重要だと思う。

新技術や国の動向などわかりました。職場でも活用していきたいと思います。ありがとうございました。

グリーンレーザ・ピンポイントの災害危険度評価システム・低コスト水位計

防災減災のあり方 ICT, IOT, AIの活用・開発

情報伝達の仕方クラウドフェイスtoフェイス

情報をどう伝えたら相手に伝わるか

最新の技術動向・伝える難しさ

「地域コミュニケーション」「自ら情報をとりにいく」「社会のための技術開発」これらを大切に河川防災対策を考えたい

住民に避難を指せる情報の伝え方

国土交通省の情報伝達の改善に向けた取り組みは大変興味深く聞きました。

国土交通省の「川の水位情報」などの最新の取り組み

河川の防災・減災に関して新技術の活用がどのように活用するかIoT、ICT技術の活用方法がよくわかった。

昨今の豪雨などを踏まえて、新しい技術の導入が考えられていることがわかった

■要望

一般の方にこの危機感が伝わればいいと思うので、関係者で何か広める方法を考えるといいのではないか。

今後も豪雨災害が頻発すると想定されますので、今回のような「これからの河川防災・減災のあり方」の後援を実施して、具体的対策について示してほしい。

早くに整備計画を出し、実整備に進められる国づくりをお願いします。

■改善点指摘事項/意見

もう少しパネラー間のディスカッションがあっても良いのでは？

パネラーの構成は良かったが、今回は「どうやったら情報が伝わるか大きなテーマになっていたの、住民目線の人も招いたらいいと思う。

ディスカッションより講演を長く

もう少し避難について掘り下げてもよかった

期待した内容と少しずれていたの、紹介文でももう少し細かい内容を説明していただけたらと希望します。今回のセミナーに不満はありません。

パネルディスカッション：ストーリーが完全に出来上がっていましたね。